

市内で初めて◇◇

婦人防火クラブ誕生

◇上末北婦人防火クラブ◇

婦人の力で自主的に防火運動を進め、家庭や地区から火災を出さないようにと、市内で初めて上末北婦人会（森田クス子会長）の皆さんが、婦人防火クラブを結成しました。

プ員三十人のうち二十五人が上末松北公民館東の空き地に集合。まず、市消防署員から家庭に備えてある消火器の使い方などについて説明を受け、その後、天ぶら油火災を想定して灯油を燃やし、各クラブ員が家庭から持ってきた消火器を使って実際に火を消す訓練をしました。

参加した婦人たちは、ほとんどの人が消火器を使うのは初めてでしたが、消防署員から「ほうきで掃くように消火粉末を火元にかけてください」などとアドバイスを受け真剣に取り組み、全員が無事に消火活動を終えました。

森田会長は「自分たちの身の回りに火を出さない

ように、防火意識の向上を図っていきなさい」と話していました。また、三月二日には十二人のクラブ員が伊野町にある高知県消防学校に一日入校し、消火、避難訓練や防火について勉強する予定です。

なお、消防署では市内の婦人会の皆さんに防火クラブ結成を呼びかけています。詳しいことは南国消防署警防係（☎3511）までお問い合わせください。



手作り人形劇で 各小訪問

南子連キャラバン隊

に分かれ、市内十三の小学校と南海学園を訪問しました。

現在市内には、百二十九単位の子ども会が結成され、約三千八百人の会員がそれぞれの地域で活動しています。これらの地域子ども会の交流を深め、よりいっそうの活動を目標し、毎年開かれていたもので今年で十七回目になります。

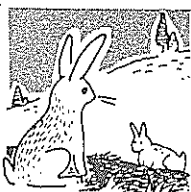
北コースの二校目は、長岡小学校。午前九時三十分、子供たちが体育館に集合し、キャラバン隊を歓迎しました。

まず、最初の訪問先の後免野田小学校からのメッセージが紹介され、鳥の巣箱や記念樹、えんぴつなどが贈られました。



ユーモラスな人形の動きに子供たちは大喜び

そして、なんといっても子供たちの楽しみは、子ども会のお父さんお母さんたちの人形劇で、今年の出し物は「つるの森」です。台本から人形まですべて手作り。一月から三週間ぐらい練習を重ねたということで、人形の操作はなかなかのもの。ユーモラスな動きに笑いが起こり、子供たちは大喜びでした。



天ぶら油火災を想定した訓練に真剣に取り組むクラブ員

